



☑ 反応がない

☑ 普段どおりの呼吸がない

☑ 脈拍なし  
(熟練救助者のみ)

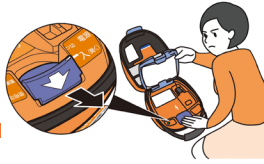
**⚠ 事前確認** オートショックAEDであることをロゴマークで確認



## STEP 1

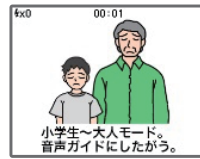
### フタを開けると、電源ON

音声ガイドに従って操作してください。  
音声で指示している内容が画面にも表示されます。



電源スイッチを手前に引いて  
フタを開ける

電源  
ON



「このAEDは自動で電気ショックをおこないます。」  
「小学生～大人モードです。反応がないこと、呼吸がないことを確認してください」

### ! CHECK! !

患者が  
未就学児の場合

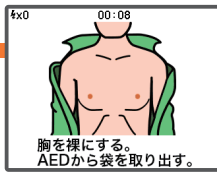
モード切換スイッチを  
切換え



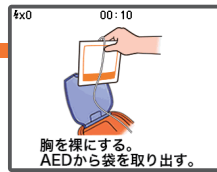
## STEP 2

### パッドを体に貼る

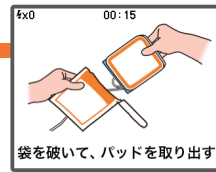
「胸を裸にして、AEDのフタから四角い袋を取り出してください」



「袋を破いて、パッドを取り出してください」



「パッドを青いシートからはがして、図のように右胸と左わき腹に貼ってください」



パッドを貼ると、自動的に心電図の解析を開始します。  
AEDの音声ガイドに従ってください。

「体に触らないでください」  
「心電図を調べています。体に触らないでください」



## STEP 3

### 患者さんから離れる 3、2、1のカウントダウン後、自動で電気ショック実施

電気ショックが必要な心電図の場合



「電気ショックが必要です」  
「3秒後に自動で電気ショックを行います」



「3、2、1」  
「電気ショックを行いました」

電気ショックが不要な心電図の場合



「電気ショックは不要ありません」



「体にさわっても大丈夫です」  
「直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください」

人工呼吸の訓練を受けており、技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を交互に2分間行います。

傷病者に普段どおりの呼吸が戻った場合は、  
身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。  
(電極パッドは貼ったまま、AEDのフタは開けたままにしてください。)



### ! CHECK! !

※救命に使用した後は使用済みの使い捨てパッドの粘着面どうしを接着しないでください。

# 救命の手順

## JRC蘇生ガイドライン2020

### 1 周りの安全の確認



### 2 肩を叩いて反応がないことの確認

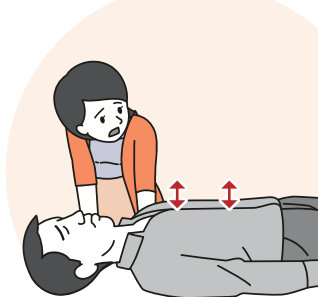


### 3 助けを呼ぶ



### 4 普段どおりの呼吸がないことの確認

胸と腹部の動きを見て呼吸を確認します(10秒以内)  
※わからない時は胸骨圧迫を開始



### 5 胸骨圧迫

胸が約5cm沈む程度の強さで、1分間に100回から120回のテンポで押します



※胸骨圧迫の部位



30回の胸骨圧迫 2回の人工呼吸

※技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

### 6 自動電気ショックを待つ

体から離れてください

離れてください!



救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう

～ いつでもAEDが使えるように～

## 忘れないで! AEDの日常点検

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら管理者も設置し、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。製造販売業者または販売業者が、設置者の保守管理の手間を軽減する独自のサービスをご用意しております。お客様のご都合に合わせて、これらを利用し、いつでもAEDが使える状態にしておいてください。



オートショックAEDのロゴマークがタグ等で隠れていないですか?

check

1

#### AED設置管理タグの確認

使い捨てパッドの使用期限及びバッテリーの装着日を確認してください。

AED設置管理タグ▶

check

2

#### ステータスインジケータの確認



使用可



要確認

AED設置管理タグはよく見えるところに!



日本光電

日本光電工業株式会社

東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560

★ AED保守受付センター ☎0120-233-821

★ AED専用ホームページ AEDライフ

<https://www.aed-life.com/>

